学校番号	2004

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	数学Ⅱ（数研出版）						
副教材等	４STEP 数学Ⅱ+B+C（数列、統計的な推測、ベクトル）（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・問題集用のノートを用意してください。
・授業では小テストや補充プリントなどを取り入れ，日頃の定着度を測りながら進めます。
・日々の学習に対する復習を行い，問題集を使って理解度を確認するようにしてください。
・問題集用のノートは定期考査ごとに提出してもらいます。
・「なぜそうなるのか」，「別の考え方はないか」など疑問を持つ気持ちを大切にして授業に臨んでください。

2　学習の到達目標

(1) いろいろな式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力を養う。
(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	いろいろな式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期						
後期	第1章　式と証明	第１節　式と計算 １．３次式の展開と因数分解 ２．二項定理 ３．多項式の割り算 ４．分数式とその計算 ５．恒等式	a:３次式の展開・因数分解の公式, 二項定理, 多項式の割り算, 割り算の等式，分数式の性質, 恒等式の性質を利用できる。 b:思考や計算の過程を正しく表現したり，公式を導いたり，計算結果から考察したりできる。 c:展開・因数分解の公式や数式の性質について興味・関心を持って調べたりする。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート レポート 振り返りシート
		第２節　等式と不等式の証明 ６．等式の証明 ７．不等式の証明	a:基本的な等式・不等式を証明することができる。 b:複雑な等式・不等式を証明することができる。 c:等式・不等式の証明を通して，数学の論証に興味・関心をもつ。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート レポート 振り返りシート
	第2章　複素数と方程式	１．複素数 ２．２次方程式の解と判別式 ３．解と係数の関係 ４．剰余の定理と因数定理 ５．高次方程式	a:複素数の性質，2 次方程式の解の公式，判別式，解と係数の関係, 対称式の性質, 剰余の定理, 因数定理，高次方程式の解法を利用できる。 b:思考や計算の過程を正しく表現したり，公式を導いたり，計算結果から考察したりできる。 c:複素数や高次方程式に興味・関心を示し，考察しようとする。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度